

情報科学会誌創刊号添付 CD-ROM 内容紹介

相 利民

本会誌に添付されている CD-ROM には、下記の内容物が含まれています。なお、閲覧に必要なソフトウェア等、本 CD-ROM に関する詳細については、CD-ROM 内 index.html をご覧ください。

- 情報科学会誌 創刊号 (原文を PDF 形式のファイルに変換、カラー対応、総計約 12MB)
- 情報科学会誌 2 巻 1 号 (原文を PDF 形式のファイルに変換、カラー対応、総計約 8MB)

編集後記

前任の一ノ瀬先生に引き続いて、編集委員長を担当しました。昨年度は編集委員として関わっていたにもかかわらず、いざ自分が編集委員長に就任してみるとなかなか思うように進みませんでした。今回は委員長ということなので、なるべく $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ には直接触れないようにしたいと考えたのですが、そうはいきませんでした。それは、創刊号のときに、自分のやったことをきちんと整理していなかったことの報いです。次号では編集委員を退任しますが、引継ぎがうまくいくかどうか、いまから少々心配している次第です。(廣田)

本年度編集委員を拝命しましたが、働きはほとんどなく、廣田編集長にオンブにダッコでした。ここに来て Windows の世界になり、 $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 環境が未だ動かず、巻頭言も昨年の先生のソースを修正して、多分これで入るだろうとお茶を濁しました。自己紹介も、半ページの割当をほんの僅か超過したのに気付かず、削るのも大変だから伸ばしたり、と一騒動。秋になったら科研費申請もあるし、早く $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 環境を作らねば。来年はもう少し働きます。(中野)

情報科学部のハードウェアシステム設計教育環境に関する記事や学部活動の記事の一部を担当しました。今回、自分の PC に $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ 環境を導入したのですがなかなか思うように動かず、原稿が遅れて他の編集委員の方々にはご迷惑をおかけしました。今回の経験を次の機会に活かせるようにしていきたいと思います。本当にありがとうございました。(澤田)

研究室紹介や研究業績などを担当しました。各先生のご協力に感謝します。編集委員長廣田先生からのいろいろなお指導のもと、作業を完成しました。ありがとうございました。(相)